大正十年四月二十三日 第三種郵便物認可　昭和十五年八月二日　夕刊　（金曜日）　第五千八百八十七號　（一）

夏の京都から

青木淳

（三）食べものの回想

柏餅も故郷のこのがいいしかも農家でつくる麥粉の澁山入つた柏餅を儕べるのがいい。十數年前三原から石川にぬける途中道ばたの友人で貰つた柏餅を山道を歩き乍らたべたあの味が今でも忘れられぬ。

か餅は他にも餡餅、餡の餅及び吉兵衛餅のごとき餅、どれもすべて一種である。くるみ餅なども他にないと一般にたべるものと思ふ。餅に食べものか且て白都はたしかに平凡な都である。

（四）京の夏

京都は日本一暑い都である。これは標準のやうな地形から來るのであらうが、日中はたしかに暑い。特に祇園祭の頃が暑い盛りときれてゐる。

「何しろ祇園祭ですからあつい」といはれてゐる。お祭が、こちらの都合はない品物を仕入れる事も出來つまりするも、油汗が流れるやうな蒸暑が京都れる。そのでも、夜になるとは涼しくなる。たゞひらひらふと、女連等は逸び浴衣と蝙は磐城で原下駄がなして來る。明け方は寒い位である加茂川のどの橋の上にも涼客が一杯夥られ川風感じられる。反對に、鋼がにふかれてゐる。河原にはゐない。十六日の送り火をには家々持ねばなりませんとて困涼床がつくられ、雪洞の影大文字山の眺めのあと、京ん、シテ見れば二貫も要りからトン〳〵下りて來た

に、料理をたべ涼を入れて都は念に秋になつたと感じます。何うぞ弦をお願し下はおきぬの旦那小林金平ねるあの和やかな景色は京られるが、夕方のカナ〳〵すつて、十圓ばかり貸して腰をかの夏ならでは見られぬものといふさびしい蜩のこゑが頂きたいものでございまけてゐる留を見て、「何ンだおきぬの此人は……」

である。このころになるときかれぬのでものたりぬ。

寺坊日々

加藤文歸

○おそろしといふ字を書りて這はせみゝ毛蟲に子ろは慣れゆくらしも

○生きのまゝ掴めて小便かけし夜ゆ蛙あそれつ吾が稚なとき

○夜盜虫捕のごときもおちざるか妻と取りをりは菜畑に

○雷に角はなきかと眼すわて訊ひたがす子の一途なる顏

○吾が乳をいらひながらに眠入る子の雷鳴るたびに肉にふるふも

ふるやうな蜩のころをききに故郷にかへつてみたい。盆踊り等もないので、京都の夏を淋しく見送るのが毎年の事である。夏は鄕里のがいい。

△電話發明者ベルなくなる

8月2日

死す（一九二二）

△大久保利通清國に赴く（明治七）

今日の句

○

過ちを責むべし、人を責むべからず

シエイクスピア

夜嵐の絹

[135]

菅谷有隣舍

十兩貸しおくんなせね

無頼漢を釋迦の留はおきぬから呼れた二歩の金を見て「御新造、今も申した通り綺麗さいまし」

おきぬはムッとして「何だい十兩要る、モシ留な者にさんざ十兩は大金だよ」

「ヘエ大金だから拜借に上りました、一歩や二歩なら手をやつてヒ、、、と笑ればお友達の所を廻つて都合は出來ます、貸すことは出來まセんかネ、出來なければすか、仕方がねい、然し御新造、には御厄介になつて居りまよく考へて御覽なさい、わすつちのやうな者を助けておくと行末は繁昌しますせ、又十兩拜借して宜い理屈が

「何だい十兩要る、モシ留な者にさんざ十兩は大金だよ」

「ヘエ大金だから拜借に上りました、一歩や二歩なら手をやつてヒ、、、と笑ればお友達の所を廻つて都合は出來ます、貸すことは出來ません、毎度こちらの御新造には御厄介になつて居りますから、資にお願ひ申す事がどざいまし、ございます」

「錢が欲しいか、幕府時代れ」

「おとなしく歸るには十兩

る事にたか、兄ゝからもさすがのおきぬも跪の留頼んでおくンなせ」

「何ンだ、十兩貸せ、這はせみゝ毛蟲に子ろは慣れゆくらしも

○生きのまゝ掴めて小便かけし夜ゆ蛙あそれつ吾が稚なとき

○夜盜虫捕のごときもおちざるか妻と取りをりは菜畑に

○雷に角はなきかと眼すわて訊ひたがす子の一途なる顏

○吾が乳をいらひながらに眠入る子の雷鳴るたびに肉にふるふも

日項定鑑

命運の代一てみの節名
何かもてん……るか

体力（肉体（健康、相貌）
活動（疾病（病勢、病名）に
天運（職業（適業、不適業）
家族運（成功、失敗）
血縁（子供の縁、兄弟の縁、夫婦の縁）
男女縁（気質、相性、相剋、婚期方位に關する一切）

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町 三六

佛壇 塗位牌 佛具類一式
豐富ニ取揃ヘました
御盆の御用意は是非當店へ……
平市三丁目
丸はん商店
〔電話三五九番〕

祖先の靈ヶ祀
お盆がおづきました
紀元二千六百年の
敬神と崇祖とは皇國の
精神の基礎
絹入燈、牡丹行燈、都行燈、御殿行燈、スダレ行燈、二連行燈、紋天行燈、猫足行燈其他
他店にては見られぬ特約品澤山
取揃へました
平市四丁目角
菅野屋商店
〔電話一五七番〕

耳鼻咽喉科專門
平市南町一六番地
大和田醫院
（入院隨意 病室完備）
電一七〇番

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板、建具材、木羽、便利瓦、建築木材一式
萬織田材木商店
ベニヤ板、
福島縣平市
電話平四六〇番

簡易金融
小口も歡迎いたします
茨城相互株式會社平出張所（金融業）
綠川喜三郎
假事務所 平市才槌小路四二

登錄商標 良藥 ムテキ
家傳 ゆでくすり 一袋三十錢 二袋五十錢 五袋一圓
切斷洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどくやけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお惱みの方に御試し下さい
製劑本舖 宮城縣 ムテキ商會
平市古鍛治町十番地（縣社下）
代理店 阿康藥局
電話四十四番
各有名藥店ニアリ
振替東京三〇〇六五番

平みやげ
磐城平の名所地が
一目でわかる
米屋の名物最中
風味自まんの米屋の最中
平驛前通り
米屋最中専門店

一筆乙ぶ
おだ味紀
手ミ田小祇

國は二ツポン・魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣平製氷會社
電二二八・三六
タヒ甘鯛
エマナ鰹
白ビ目柱
魚帆立
カツノコ
ウニ貝燒
ヒラメ冷凍魚
平代理店四丁目
印魚河岸
配達ハ一尾一箱ヨ
迅速ニ致リマス。
五番へ屋

吸入用酸素
純度99%
實量衡
モノサシ
マス
ハカリ
體温器
秤ノ取扱
飛系・地
開閉ニシマス。
開閉局
電話四〇番

和洋結髮
パーマネント・ウエーブ
夏向の髮姿數種を研究致して參りました。何卒愛顧の程を御願致します
手塚美容院
〔徒弟入用〕
平市新田町

開院廣告
內科
外科
平市六丁目
叶多醫院
電三九二

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
味噌醬油
たひら正宗
經節食品料
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

清爽な朝の大氣に 健康タヒラを展開

市內四小學のラヂオ体操蓋あけ

本市のラヂオ体操會は事變三周年記念日直後の興亞奉公日にして國民精神錬運動週間劈頭の今一日早曉五時二十分、紀元二千六百年橿原神宮奉献全國ラヂオ体操大會と時を同じうし、市內四小學校庭で一齊に行はれた、全國昨年中の參加延人員二億五千萬人と註せられた昨今の大勢と揆を同じうし而も非常時下の体位向上から逐年其數を增しつつある市內第一日の各會場參加者は

第一　一、五八三
第二　一、五六八
第三　二、一〇〇
第四　六〇〇

合計五千八百五十一人で昨夏の第一日目五千四百六十二人より約四百人の增加で若鮎のやうな溌剌たる兒童と元氣に滿ちた多數の老若男女とが渾然一体をなし爽爽な早朝の大氣に泳ぐ白一色のマスゲームは目にも壯快な健康タヒラを象徴して頼もしい非常時風景であつた

田町でも　市內田町でもけふから松月堂▮けふから　神谷米穀店前舗道を會場とし熊谷第二訓導の指導で開始したか參加約二百名、盛況を示した一丁目長橋町でも開始した

市警防團施設強化

あす後援會評議員會

平警防團後援會の寄附金募而の施設強化に就て協議す集は大谷副會長の熱心奔走るとにより廢報の好成績で既に目標額の三萬圓を突破し愈よ諸般の計劃が實行される段取りとなつたので明二日午前十時から市會議室に評議員會を開き大谷副會長から從來の經過を報告し、當

工校委員會

あす埋立協議

縣立工業學校敷地埋立に就ては過般來委員の手によ埋立用土砂購入その他着々計劃が進められてゐたが既此程大体下準備が出來たので明二日午後一時から委員會を開き直營着工に關する具体的協議をなすと

グライダー講習會

磐中平商教諭出席

グライダーは今年度から神宮國民体育大會の種目に加へられ航空思想が一般昂揚の折柄地方ではさきに平商グラウンドでその試驗滑空を行つただけで未だ一般に普及せぬので磐中樫村好幸平商淸水幸截の兩教諭が來る五日から十一日まで仙台市宮城の原に開かれる指導者養成中等學校教員滑空訓練講習會に受講の上先づ學生から漸次一般にもその智識涵養に努めることゝなつた

小學生獻金　大浦村

小學校全兒童は廢品回收で十圓十八錢を得たので恤兵金としてそつくり村役場へ寄託した

研美院淑髮開始

卓越した技能と施設の最新から好評を博してゐる市內田町研美院では今回東都名流美容師を招き今一日から永久性淑髮（パーマネント）を開始した。高級藥品を用ゐ頭髮を傷めぬが特長であると

磐中名校長 淺水成吉郎氏去る

在任四年間の功績顯著 新潟轉出に深刻な惜別

昨三十一日發表された縣下の教育刷新異動により磐中校長から新潟中學校長に榮轉した淺水成吉郎氏は小檜山久作前校長の後をうけて去る十二年三月相馬中學校長より轉入爾來熱と愛とを傾けて千二百の全校生徒を率ゐ、校風の刷新に寧日無い、その成績目ざましきもののある中にも、生徒の素質向上に現ては職員、生徒、家庭三位一体の强靱なスクラムの下に殆ど舊態を存せざる現況に築き上げ今春、於ける上級校進學率が同校空前とも云ふべき好結果を收めた等など校の內外から絕賛を浴びて居た名校長として今回の轉出を惜しまれてゐる

高月學風を確立

校長の心境光風霽月か

淺水校長の榮轉說は從來幾度か而も轉出先き迄具体的に傳へられた程であるがその都度校內外の與論が榮轉を阻む運動となり、校長またその期待を滿足せしむべく素情の最大限を悉くして今日に至つたが昨今足掛け四年に亘る自らの經綸が着々既成の施設となつて現れ　大体同校の基礎工事が完成した處で今日の轉出となつたものの如くである

（淺水校長略歷）青森縣八戶市生れ、四高から京都帝大出の法學士で七尾、相馬、磐城の各校長を歷任今日に至った

錦衣懷しの母校へ 山森正一新校長

平藩士で磐中出身

新磐中校長山森正一氏は舊平藩出身で磐中第四回（明治三十七年）卒業生、廣島高師を出て中等教員として各地を歷任、嘗て白河中學校長たりし事あり、從來も幾度か錦衣歸郷の磐中校長就任を取り沙汰された居常苟もせざる謹嚴篤厚の教育家で永年の下馬評が今日事實となつて現れたわけである

山森新校長の橫顏

＝磐中人國記抄＝（昭和八年・磐水誌所載）

◇山森白中校長

中學時代から篤學謹嚴な模範青年であつた八幡小路の山森正一氏は磐城育英會初期の給費生として苦學力行、廣島の高師を出て、江川太郎左衛門の反射爐で名高い伊豆の韮山中學に勤め其後青島の中學から何代前かの本縣良二千石の懇望で白河中學校長（四等待遇）となり本縣教育界にその人ありと知られてゐるが揚土時代氏の生家に近い八幡小路の本多（今の彫刻家朝忠氏宅）方に間借りして徹底した超尖端のデカダン振りに散々氏に厄介をかけた前縣議古川傳一氏なぞに云はせると、端正謹嚴當時既に將來爲すある片鱗の閃きを見せてゐたとの事である

東北中と初顏合

晴れの甲子園目指す 磐中に地方ファン期待

甲子園の檜舞臺目指して東北大會に進んだわれらが代表磐中軍は今一日その第一回戰組合せで午後三時半から東北中學と對戰したが敵手は仙臺一中と共に宮城縣の優勝候補なので地方ファンは磐中の力鬪を念じながら懸念の眼を市內各所の貼出しに血走らせる一方これ亦見ものゝ福中對仙臺一中との一戰に多大の興味をかけてゐた

邪戀の人妻道行き

茨城縣鹿島郡大同村甚三郞妻小澤セン（四二）は去月二十三日今年二つの男の子を伴れて行方を晦したが平方面に入り込んだらしいからと夫から平署に搜索方を願ひ出た　同女は昨年八月にも家出江名町菜米店に働いてゐたことが判り連れ戾されたが同家の村山石松（四二）と駈落したらしく男は丈五尺七、八寸の男であると

玉屋眼鏡店　平市二

聞陸海兩相留任

珠雲　小野務平

海陸武威誰敢侮
亞東建設貢獻深
忽逢政變俱留任
兩相可知家國深

平市慶弔錄

○婚姻　山形縣北村山郡東鄉村沼津一、九一五奧山太氏（三〇）と紺屋町六七鈴木イネさん（二九）

拈華微笑

味爽の氣澄む四校庭に展開された健康タヒラの豪華繪卷

□

興亞奉公日、國民精銀週間劈頭に明けたけふの力強さよ

□

錦衣歸鄕の譽も山もりに市內身者の磐中校長就任

□

母校に最高のポストが待つ！とは三十數年前の生徒山森之を知れりや

□

青葉城下に野球聲援、最後迄高月學園を愛す淺水校長

陣中を聽く

……………(814)……………

慰問袋來るの告知に 黑板の前で躍り上る

新川町出身　千葉一君（通信）

謹啓過日は有り難き御慰問袋を頂き誠に有り難う御座いました。頂きましたその日も一日の業務を終り隊に歸つて一番先に見るも、は何と云つても石鹸の黑板です。其處には今日の翰者の氏名です。戰友達は自分のは來ては居らぬかと黑山の樣になつて見るものです。僕もその一人でした。僕も數ヶ月振り、てここに歸つて初めて僕の名が出て居たのです、而も小包となつて居るではありませんか。われ知らず雀躍りして喜ばざるを得ませんでした。

さて何處から來たのかと事務室の方へ行つて頂いて見ますれば、銃後の皆々樣の熱誠溢るる慰問袋でした。

內容品の菓子は戰友達と共に戴き、又新聞や双六などで自分が出動前の記憶が眼前に蘇る心地が致しました。鄕土の新聞を見ますれば工業學校は完成して今年より授業を開始したとのこと、又公會堂の前には放送塔が出來たとのこと、益々發展し行く鄕土を思ひ出し僕も一意任務に專心致し銃後皆々樣の御期待に添ふ覺悟で御座います。

又小學生の綴り方も狀況そのままを書いてあるのも面白いものです。兒童の筆が一番樂しみです

當地も段々暑さが嚴しくなりました。又當市內に惡疫が流行して（略）內地も隨分暑くなつた事と存じます。では銃後の皆々樣には御壯健であられることをお祈り致します。亂筆乍ら厚くお禮申上げます。

慰問團來隊

市內鎌田出身　高木益利君

拜啓暑中の候益々御隆盛の御事と存じます。この度再び御高價なる慰問袋御送付下さいまして重ね重ね御厚情に感謝して居ります

內地も暑い氣候と成つた事でせう。當地も毎日暑い日が續いて居ります。

このうち平より慰問團來隊せられまして充分に懷しき故鄕の味を偲ぶことが出來ました。先はお禮まで

大工町と長坂の踏切りはどうなる

其後の經過に市民の關心

手近な實例から云つても市內大工町、長坂兩踏切りは近來交通量の激增から貨車入れ替え中の交通停止に因る不便の除去に就ては關係住民間に長らく懸案として其改善方を熱望されてゐる折柄鐵道、內務兩省では國道に地方費府縣道及び市町村道の平面踏切を立體交叉踏切に改造する計畫を樹て具體化に着手したが、工事費の負擔關係で永年鐵道省と內務省及び府縣市町村當局とが對立しそれぞれ紛爭を重ね同計畫の前途に暗影を投じてゐたが、過般鐵道內務兩省よりなる『全國踏切除去委員會』で兩者が步み寄り、負擔の原則を國道の場合は內務省と鐵道省が工事費の折半負擔をなし府縣道、市町村道にもこれに準ずることゝに圓滿協定が成立、これと共に明年度より同委員會で次年度計畫を樹立し國道及び指定府縣道に優先權を與へて全國の交通頻繁な踏切から漸次改造に着手して行くことになつたので從來通行人を腐らせた平面踏切は高架または地下道に改良されることになり物資並びに資金關係で多少の延引を見るだらうが重要な踏切はこゝ十ケ年內に平面踏切が全國的に消えてなくなるわけで地方交通界の益が多いだけに負擔關係の原則決定と共に注目され市內でも當面の問題として其の後の經過に就て寄々關心を深めてゐる

辭令

箕輪第二尋常小學校
訓導　矢部熏
任社會事業主事補 命社會課勤務
監理課土木書記補　水口祐一郎
任土木書記（四倉港修築事務所）
四倉港修築土木書記（富岡）佐藤恭平
監理課土木書記補（平）遠藤虎男
命頭書土木監督所勤務（各通）

千圓の闇

市內の呉服屋檢擧

市內四丁目呉服商小野榮こと小野榮一（三九）は今年四月から六月まで靜岡縣濱松市野口町織物問屋神谷豐太郎同市上杉町鈴木富三の兩名方から紺織本物三百反を買入れ地方の仕立屋其他一般へ一反二圓六十四錢のを七圓五十錢で賣却、約千圓の不當利益を得たこと發覺平署に檢擧されたが他にもこの手のものがあるらしいので引續き內偵中であると

誘拐して 雇女を賣る

相馬郡飯豊村新田生れ佐藤三郎（三二）は去月九日頃仙臺市鐵砲町飲食店千歲こと千藏とし雇女熨斗ハル（三二）に對し『自分は請負人の一人息子で許嫁があるが結婚が嫌だから』と同女を誘拐して平方面に入り込み植田町番所下料理店橋本屋方へ前借二百圓●約束で手付金百圓を詐取、內郷村小島木賃宿林屋こと林サト方へ止宿中平署に檢擧された

二日

【小名濱測候所調】
滿潮　前一、四五　後四、二〇
干潮　前九、二〇　後九、三〇

新八月二日　金曜　丁丑　佛滅　破　要宿
舊六月二十九日

▲一白　心の緩みをよく制し且つ交際にも注意すべし▲二黑　一時運勢の止ることあり辛抱が大切のとき▲三碧　力に餘る事に手を出す時は大敗を招くべし▲四綠　一利あらば後は手控へすべし好事再來せず▲五黃　名よと人格を重ずる時は運氣向上し行くべし▲六白　隱れたる努力が次第に現れ來る日油斷すな▲七赤　脫線せざる限り何事も進みて吉しおごりは注意▲八白　窮地負けをせぬやう避きを苦にせず勵げめ▲九紫　生氣を損作し久しきにたゆる窮地あれば吉

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩　北東の風曇
明日　北東から南西の風曇後晴

崇祖の精神は一家の礎

御佛具 佛ダン 位牌

新盆には是非伊東屋へ

本店 新川町 伊東屋家具店
支店 平市四丁目（局前） 伊藤屋家具店

戰死者の方には勉强を致します。

お知らせ

一、此の度東都名流美容師を招きまして、銃後女性に最も相應はしい永久性淑髮（パーマネント）を八月一日より始めますどうぞ御利用下さいませ
一、毛髮を傷めぬ高級藥品を使用致しまして充分御滿足頂ける樣努力いたします
一、料金　毛先三、五〇　全髮四、〇〇
お好みにより部分的にもおかけいたします

平市田町五〔電話六三八番〕 研美院

夏の洋裁講習會

▼夏期洋裁講習會規程
一、期間　八月二日ヨリ十四日迄
一、時間　午前九時ヨリ午後一時マデ
一、會場　シンガー洋裁女學院
一、講習課目　婦人、子供服其他
一、材料實費

平市田町（市役所側） シンガー洋裁女學院

お盆提灯

崇祖、日本精神

二丁目 福多屋

高久病院

平市田町（電話五三一番）

醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤[illegible]信
藥劑士　佐竹[illegible]愛

內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科

（看護婦至急募集）